

協定に基づいた
宮古島市教育委員会との
連携事業の推進について

ずみ！ネット連携推進会議
砂 川 力 也

協定に基づいた宮古島市教育委員会との 連携事業の推進について

国立大学法人琉球大学教育学部(以下「甲」という)と宮古島市教育委員会(以下「乙」という)は、相互に連携・協力して、乙に関わる学校の幼児・児童・生徒や甲に所属する教員・学生を対象とした事業を実施することについて、次のように協定を結びます。

琉球大学教育学部

教員や学生による宮古島市における教育活動への支援

学生等の宮古島市における学校インターシップ

宮古島市教育委員会

教員等の資質向上のための研修会

教育上の諸課題に対応した調査・研究等

地域連携推進会議

ずみ！ネット

宮古島市教育委員会と琉球大学教育学部の連携・協力に関する協定書

国立大学法人琉球大学教育学部(以下「甲」という)と宮古島市教育委員会(以下「乙」という)は、相互に連携・協力して、乙に関わる学校の幼児・児童・生徒や甲に所属する教員・学生を対象とした事業を実施することについて、次のように協定を結びます。

(趣旨)

第1条 甲は、乙に関わる教員に大学における高度な教育、研究に触れる機会を提供し、教員個々の能力や適性の伸張を図るとともに、甲の教員・学生は、離島である宮古島の教育に対する理解を深め、宮古島市の教育に資する研究及び事業を行います。

(事業内容)

第2条 連携協力事業の内容は、次の通りとします。

- (1) 乙に関わる教員等の資質向上のための研修等に関する事
- (2) 乙に関わる教育上の諸課題に対応した調査・研究等に関する事
- (3) 甲の教員や学生による宮古島市における教育活動への支援に関する事
- (4) 甲の学生等の宮古島市における学校インターシップに関する事
- (5) その他、甲と乙の協議の結果に基づき実施する事業に関する事

(実施組織等)

第3条 甲と乙は、その代表で組織する連携推進会議を設置し、連携事業の内容について協議し実施するものとします。

(協定期間)

第4条 この協定書の有効期間は、2007年度の1年間とします。ただし、この協定書の有効期間満了の4ヶ月前までに、両者から改定の申し入れがないときは、更に1年間継続するものとし、その後もまた同様とします。

(補則)

第5条 この協定書に定めるもののほか、連携事業に関し必要な事項については、両者が協議の上、別に定めるものとします。

本協定書を2通作成し、甲と乙がそれぞれ押印のうえ1通を所持します。

2007年5月18日(H19)

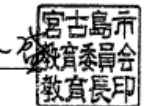
甲 国立大学法人琉球大学教育学部長

會澤卓



乙 宮古島市教育委員会教育長

久貝勝



2007年に協定締結



県内の7つの市町村(竹富町教育委員会, 那覇市教育委員会, 宮古島市教育委員会, 宜野湾市教育委員会, 石垣市教育委員会, 中城村教育委員会, 南部広域行政組合教育委員会)と連携協定を締結

1 ずみ！ネット連携推進会議(7月中旬, 3月上旬)

2 アドバイザリースタッフ派遣事業(宮古島市予算)

協定書に関する申し合わせ

- 1 連絡推進会議の委員長を市立教育研究所からの代表とし、副委員長を教育学部からの代表とする。当面は宮古島市教育研究所所長を連絡推進会議の委員長とし、琉球大学教育学部 教授の 〇〇〇〇〇〇 を副委員長として主たる協働事業実施を進める
- 2 会議の事務局長を市立教育研究所指導主事とする
- 3 委員は連絡推進会議が必要とする者を選出し、両者同数とすることを原則とする
- 3 議題は双方からの提案を尊重し調整に努めるものとする。
- 4 この協定に基づく協働事業の実施に関しては、双方誠意を持って当たることとし、仮に事業を巡る問題が生じた場合には、双方いっそうの相互理解と誠意を持って解決に努力する。

- ① 竹富町教育委員会と教育学部の連携・協力に関する協定(平成16年7月22日締結) 2004年
講義「教職実践演習」による離島実習, へき地校体験実習, アドバイザリースタッフ派遣事業を活用した支援等を実施しています。
- ② 那覇市教育委員会と教育学部の連携・協力に関する協定(平成17年1月20日締結) 2005年
「NARAEネット」推進会議を定期開催し, 教育学部教員の講師派遣, 教育実習等の支援・協力の調整, 研究授業における継続した指導助言や新学習指導要領等における理論研修を行っています。
- ③ 宮古島市教育委員会と教育学部の連携・協力に関する協定(平成19年5月18日締結) 2007年
「ずみ!ネット」連携推進会議を定期開催し, アドバイザリースタッフ派遣事業を活用して宮古島市内の学校へ講師を派遣し, 夏期研修会, 長期研究員への助言, 検証授業等を支援しています。
- ④ 宜野湾市教育委員会と教育学部の連携・協力に関する協定(平成19年6月28日締結) 2007年
「はごろも教育ネット」の会議を定期開催し, 教育学部の教職体験Ⅱ, 小学校教育フィールドワークⅡ, インクルーシブ教育フィールドワーク, 幼稚園インターン, 教職指導にかかる1日職場体験, 教職大学院の課題発見実習Ⅱ, 研究教員のための指導講師の派遣, アドバイザリースタッフ派遣事業による授業づくり・校内研修等を実施しています。
- ⑤ 石垣市教育委員会と教育学部の連携・協力に関する協定(平成22年2月4日締結) 2010年
八島小学校と大浜中学校をモデルとする授業改善のための共同研究, アドバイザリースタッフ派遣事業を活用した支援活動, トータル支援活動等を行っています。
- ⑥ 中城村教育委員会と教育学部の連携・協力に関する協定(平成24年2月29日締結) 2012年
「とよむネット」の連携協議会を定期開催し, 中城村校種間交流連携研究会での講話, 中城村校種間交流授業研究会に教育学部の講演者や指導助言者を派遣しています。
- ⑦ 南部広域行政組合教育委員会と教育学部の連携・協力に関する協定(平成26年9月2日締結) 2016年
連携推進会議を定期開催し, 島尻教育研究所の長期教育研究員の指導講師として教育学部教員を派遣し, 島尻地区管内の適応指導教室等における支援ボランティア学生を派遣しています。また, 短期研修や小・中学校教諭等自主参加講座へ学部教員を派遣し, トータル支援教室 in 島尻も実施しています。
- ⑧ 連携事業の拡大
大宜味村教育委員会, 沖縄市教育委員会等とも連携して活動を展開しています。

アドバイザースタッフ派遣事業の推進

琉球大学教育学部・教育学研究科・教職センター

2022年度

アドバイザースタッフ派遣事業

◎アドバイザースタッフ派遣事業とは？

アドバイザースタッフ派遣事業は、琉球大学教育学部・教育学研究科・教職センターが大学と地域社会の連携を目指し、大学が有する研究活動の成果を地域に還元することを目的として実施するものです。学校の校内研修をはじめ、教育委員会や教育研究所等で実施される研修会等に琉球大学教育学部・教育学研究科・教職センターの教員を講師として派遣いたします。また、子どもをめぐっての教育相談等についても対応いたします。お気軽にご相談ください。

◎アドバイザースタッフ派遣の申込は

1. 教育学部教育研究支援室へのFAX・メール
2. 教員と直接調整、日程等調整後教育学部教育研究支援室へ連絡

上記1、2、のいずれかをお願いします。
お申し込みの際は「アドバイザースタッフ派遣について」として、下記の事項についてご連絡ください。
①依頼者（学校・教育委員会等） ②代表者 ③申込者
④申込者連絡先（電話・FAX・メール） ⑤派遣希望日時 ⑥用務（派遣）先
⑦依頼内容（講演・ワークショップ・指導助言・教育相談・その他）
できるだけ詳細をお願いします。開催要項等の資料の添付も可能です。
⑧派遣希望スタッフ名 ⑨その他

教育学部のホームページに「申込フォーム」を掲載しておりますので、適宜ご活用ください。
教育学部教育研究支援室へお申し込みいただいた場合は、お申し込み内容をもとに大学教員との調整を行います。派遣の可否や日程の決定後は申込者と大学教員とで直接調整を進めてください。

- ◎派遣が決定しましたら
- ・派遣教員宛と所属長宛の派遣依頼の公文書（公印省略可）をメールまたはFAXでご提出お願いいたします。

- ◎お願い
- ・派遣先は、沖縄県内の教育関係機関といたします。
- ・派遣教員の謝金等は必要ありませんが、原則として交通費を負担していただいておりますのでご協力よろしくお願いたします。
- ・派遣にあたっては大学教員の講義や出張の都合もあるため、早めの（遅くとも派遣希望の2週間前までに）お申し込みをお願いします。お申し込み後、日程や具体的内容等について調整を行います。なお、各教員の都合や日程によっては、ご要望にお応えできない場合もございますので、ご了承ください。ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。

詳しくは「琉球大学教育学部 アドバイザースタッフ」検索

琉球大学教育学部 教育研究支援室

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字干原1番地（地域国際学習センター1階）
電話 / FAX 098-895-8373 E-mail : m-cerd@w3.u-ryukyuu.ac.jp

学校支援・共同研究・授業づくり私たちがお手伝いします!!

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	村上 昌里	rori@edu.u-ryukyuu.ac.jp	国語の教材研究・授業づくり
2	辻 藤三	tsuji@edu.u-ryukyuu.ac.jp	国語教材を活用した英語科授業づくり
3	教野 教子	hagino@edu.u-ryukyuu.ac.jp	『伝統的な言語文化（古文分野）』『日本の古典文学』の授業づくり
4	中本 謙	nakamoto@edu.u-ryukyuu.ac.jp	「しまくとぅば」に関する相談
5	上田 慎 男	uetsuno@edu.u-ryukyuu.ac.jp	小学・中学国語の教材研究および授業づくり
6	高 瀬 裕 人	tyu@edu	

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	湯澤 秀文	yuza@edu	
2	日 藤 隆 朗	b98555@edu	
3	山 崎 康 一	yamasiro@edu	
4	加 藤 本 子	katon@edu	
5	神 里 美 智 子	kamizami@edu	

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	山口 剛史	tyama@edu	
2	島 袋 純	ixehima@edu	
3	前 村 佳 幸	yo_qian@edu	
4	北 上 田 源	kitaueda@edu	

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	吉 田 安 規 良	whel@edu	
2	富 永 篤	tomiyaga@edu	
3	濱 田 崇 作	ehamada@edu	
4	堀 本 寛 彦	hokumoto@edu	
5	杉 尾 忠 司	sugino@edu	
6	岩 切 宏 文	iwakiri@edu	
7	城 間 吉 貴	y.shiro@edu	
8	馬 場 社 太 郎	baba@edu	

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	奥 儀 純 奈 子	minayogi@edu	
2	深 澤 真 真	fukazawa@edu	
3	津 田 教 子	atsuda@edu	

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	村 田 昌 己	sonta79@edu	
2	崎 山 恭 生	yayoi@edu	
3	小 川 由 美	y_mio@edu	
4	西 村 幸 貴	yukitaka@edu	
5	袴 松 朋 世	tomochi@edu	

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	吉 田 悦 治	etsuji@edu	
2	小 林 康 貴	y@mail.ry	
3	仲 間 伸 史	nakanobu@edu	
4	金 城 謙 一	mkjnc@edu	
5	亀 井 彦 一 郎	y.kame@edu	

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	三 輪 一 義	miwa@edu	
2	江 藤 真 生 子	emaki@edu	

No.	氏名	担当科目	担当内容
3	砂 川 力 也	sunakawa@edu.u-ryukyuu.ac.jp	学校体育における研究授業の進め方、体育の教材研究、教材開発と教育実践に関する指導、体育科の授業づくり、教材づくり、運動遊び
4	三 田 沙 織	mitsuda@edu.u-ryukyuu.ac.jp	

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	福 田 英 剛	fukuda@edu.u-ryukyuu.ac.jp	紙・木材や金属を使ったものづくり体験教室、親子の科学実験教室、地球環境化や昔工芸教育の教材作成、省エネ講座、キャリア教育
2	岡 本 教 子	makiko_y@edu.u-ryukyuu.ac.jp	プログラミングを利用したロボット運動操作授業、日本のエネルギー政策 3E+S を意識したエネルギー教育、各
3	小 野 祥 光	onodera@edu	
4	新 堀 圭	araki@edu	

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	浅 井 玲 子	asai@edu.u-ry	
2	國 古 真 哉	kunishi@edu	
3	田 原 美 和	tmiwa@edu	
4	松 本 山 香	mayuka@edu	
5	土 屋 善 和	yoshi-t@edu	
1	上 地 完 治	kanji@edu.u-ry	

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	廣 瀬 等	hirose@edu	
2	宮 城 政 也	masaya@edu	
3	村 末 勇 介	y.murasu@edu	
4	伊 藤 吉 明	sasazawa@edu	
5	丹 野 謙 太	momocafe@edu	
6	鹿 野 祥 太	syota@edu	
7	中 込 雅 典	tatsuma@edu	
8	田 崎 あゆみ	ayumi@edu	
9	岡 花 新 一 郎	kichin@edu	
10	岡 本 泰 弘	okamoto@edu	
11	宮 城 利 佳 子	rmiyagi@edu	

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	上 地 完 治	kanji@edu.u-ry	
1	浦 崎 武	sen@w3.u-ry	
2	下 條 満 代	e941221@edu	
3	照 屋 晴 宏	hateruya@edu	
4	權 福 裕	kwon@edu	
5	矢 野 夏 樹	nayano@edu	
1	望 月 逸 浩	fullmoon@edu	

延べ90人の大学教員がスタッフとして登録(2022.5現在)

No.	氏名	担当科目	担当内容
1	白 尾 祐 志	shirao@edu.u-ryukyuu.ac.jp	「主体的、対話的で深い学び」を目指す授業づくりと授業研究（国語、社会、算数等各教科、道徳科、総合的な学習、特別活動など）、教育課程（カリキュラム、マネジメント、社会に開かれた教育課程等）、学級経営、生徒指導等
2	濱 田 泰 明	michita@edu.u-ryukyuu.ac.jp	資質・能力の育成、主体的な学び（学習意欲）、対話的な学び、深い学び、確かな学力（基礎・基本）、進歩・向上・表現力育成、よりよい授業づくり（全教科）、よりよい校内研修
3	多 和 田 実	tawadami@edu.u-ryukyuu.ac.jp	よりよい授業づくり、教科指導、特に苦手・弱任、（メンタルヘルス支援等）等（高校中心）
4	比 嘉 健	higa-t@edu.u-ryukyuu.ac.jp	カリキュラム・マネジメント、教育評価、協働学習、個別最適な学び、主体的・対話的で深い学び、理科教育
5	巖 瀬 達 司	itsush@edu.u-ryukyuu.ac.jp	GIGA スクール環境で変わる授業づくり、インクルーシブな視点を生かした授業づくり、思考ツールの活用方法、地域教材開発 http://www.itsushinet/
6	森 力	morichik@edu.u-ryukyuu.ac.jp	子ども及び学校の発展に資する授業づくり・授業力向上のためのあり方、小学校教員における資質・能力育成及び授業改善に向けた授業のあり方
7	上 江 洲 朝 男	uezu@edu.u-ryukyuu.ac.jp	教師自身のコミュニケーション力、スピーチ力のスキルアップ研修、学会等の演習指導法やロールプレイ等取り入れた授業づくり
8	下 地 敏 洋	shimota@edu.u-ryukyuu.ac.jp	教育者人生：人生100年時代を豊かに生きる海外留学の魅力：留学で出会った人々から学ぶ
9	那 谷 谷 心	nanaya@edu.u-ryukyuu.ac.jp	資質・能力を育成するためのパフォーマンス評価、総合的な学習の時間における授業づくり、学びを深めたカリキュラム開発
10	塚 原 結 太	tsukahara@edu.u-ryukyuu.ac.jp	学校におけるカリキュラムづくり、スタートカリキュラム、授業づくりや学習対話等の協力的・創造的な学びと評価
11	上 原 正 人	uehamasa@edu.u-ryukyuu.ac.jp	算数科における授業改善や「開いがまれる授業」についての支援（教科指導、担任指導など）
12	杉 澤 幸 司	sugisawa@edu.u-ryukyuu.ac.jp	総合的な学習の時間の指導・評価、STEAM教育の実践とその評価、新時代に合わせた高等学校改革について
13	中 園 有 希	yunaka@edu.u-ryukyuu.ac.jp	協同学習を支える教材開発、デジタル教科書の活用
14	森 田 寛 隆	hirokuni@edu.u-ryukyuu.ac.jp	子どもとの成長の付け方（学習指導）
◎学校運営上の法律相談			
1	田 中 洋	tanakab@edu.u-ryukyuu.ac.jp	学校教育における法律問題、法教育のお手伝い
◎子育て支援			
1	高 橋 英 奈 子	minakot@edu.u-ryukyuu.ac.jp	日本語を母語としない児童生徒への支援方法
◎生涯学習			
◎産学連携			
1	宮 城 一 葉	k_miyagi@agru.u-ryukyuu.ac.jp	食品の機能性・加工利用（沖縄産果実、島野菜など）子どもの食生活・栄養教育、健康・栄養に関するライフステージ別に必要な栄養教育、栄養指導など行う
2	大 西 竜 子	ohnishib@agru.u-ryukyuu.ac.jp	栄養学の基礎、身近な食材を使った実験
3	井 口 直 子	iguchina@agru.u-ryukyuu.ac.jp	学校における食育推進について、食育の授業づくり
◎生涯学習			
1	伊 藤 吉 明	sasazawa@edu.u-ryukyuu.ac.jp	サッカー・ビーチサッカーの普及法及び楽しみ方
2	砂 川 力 也	sunakawa@edu.u-ryukyuu.ac.jp	競技スポーツにおけるトレーニング指導、陸上競技のテクニカルサポート
3	宮 城 政 也	masaya@edu.u-ryukyuu.ac.jp	競技スポーツにおける選手、指導者のためのメンタルトレーニング

教科教育

学校教育

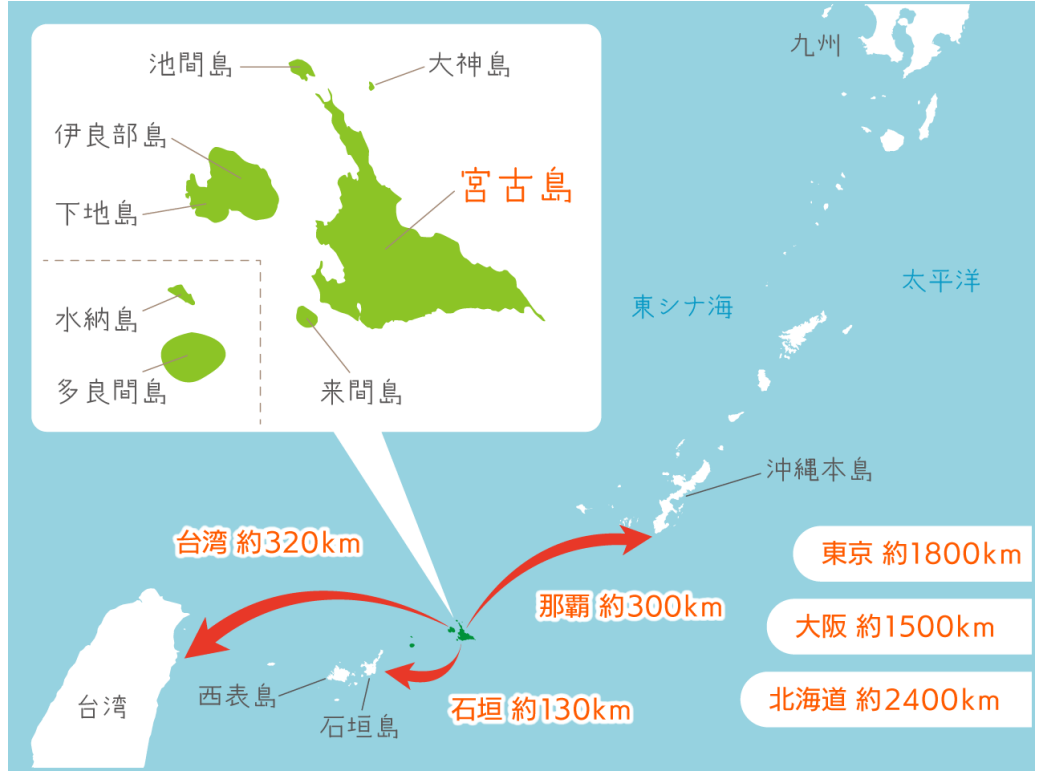
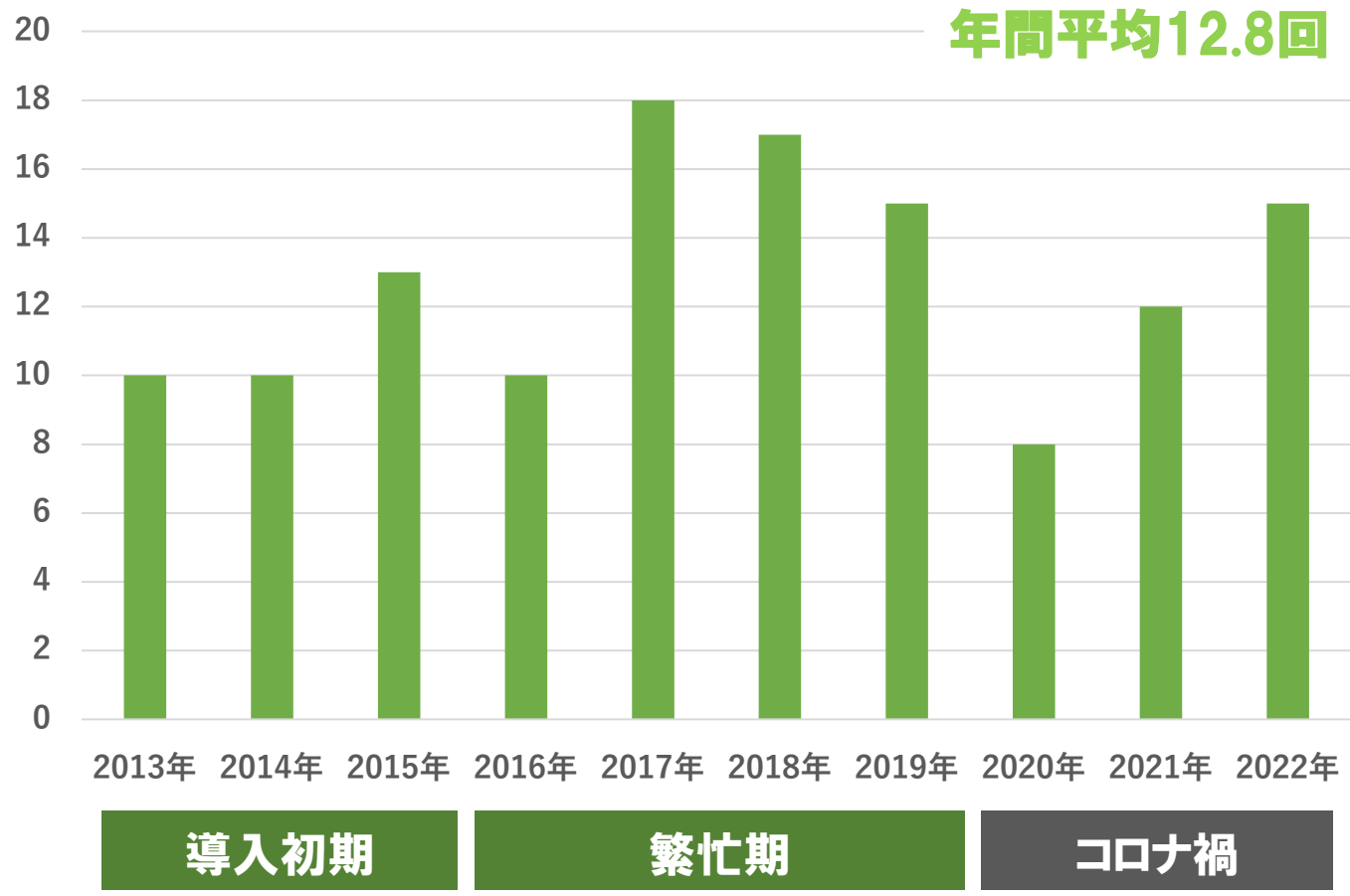
生涯教育

幅広い分野で
充実した教育支援



過去10年間のアドバイザースタッフ派遣事業の活用実績

宮古島市におけるアドバイザースタッフ派遣実績



物理的な距離のハンデ
宮古島市予算でスタッフ派遣に対応
格安航空券でコストカット
琉球大学スタッフ(教員)の深い理解と熱い協力

過去10年間のアドバイザーースタッフ派遣事業の活用実績

導入初期

10回程度の「回数」を前提に、宮古島の年間事業計画を立てていた。

一方で、2015年頃から宮古島の教育課題が山積

長期研究員の指導助言を中心があったため、その他の研修会での活用が少なかった(できなかった)。

繁忙期

宮古島市予算の拡充と研修会日程の工夫などによって派遣回数が増加。

琉球大学教員との事前打ち合わせを速やかに行うことで、年間計画が円滑に進んだ。

丁寧且つ細やかな年間事業計画の見直しと日程調整の早期化。

アドバイザーースタッフ派遣事業と研究成果に対する広報活動

コロナ禍

コロナ禍初期は、中止される研修会もあったが、オンラインで対応。

コストパフォーマンスの観点から、オンラインと対面式を併用することでむしろ教育支援の幅が広がった。

支援内容は十分とは言えなかったが、教育支援を止めることはなく、学びを(なんとか)継続できた。

2021 保幼小連携プロジェクト

2022 特別支援教育プロジェクト



※琉球大学の特別予算で実現

過去10年間のアドバイザースタッフ派遣事業の活用実績

2021 保幼小連携プロジェクト



**琉球大学教育学部
コーディネーター
岡花 祈一郎先生**

**狩俣幼稚園, 伊良部小学校
の実践事例報告**

**武蔵野大学教育学部
箕輪 潤子先生による講演**

幼児教育と小学校教育の連携・接続に向けて
地域の特色を活かした連携と接続


2022年3月14日(月)
14:00 - 16:45
Zoomオンライン講演会
参加費無料・定員300名

【実践事例報告】
狩俣幼稚園：施設一体型の幼小連携
伊良部島小学校：エリア型の幼小連携

【講演】
「幼児教育と小学校教育の連携・接続に向けて」
箕輪 潤子（武蔵野大学）

【ディスカッション】
コーディネーター
岡花 祈一郎（琉球大学教育学部）

お申込み
▶ 右記のQRコードから
お申し込みください
申込締切 3月7日（月）




箕輪 潤子 先生
東京大学大学院教育学研究科博士課程
修了後、現在武蔵野大学教育学部
准教授。博士（教育学）。
著書として、『箕輪潤子（2009）遊び
がもたらす魅力になる15・4・5歳児
の言葉がけ』砂場園（親子保育者の指導
力アップ、明治図書）など多数。

主催：琉球大学教育学部・宮古島市教育委員会・宮古島子ども未来課
後援：沖縄県教育委員会（申請中）・琉幼会
問合せ：琉球大学教育学部（担当：岡花） E-mail：kiichi@edu.u-ryukyuu.ac.jp

2022 特別支援教育プロジェクト



**琉球大学教育学部
下條 満代先生
香里ヌヴェール学院小学校
松山 康成先生
豊見城市立ゆたか小学校
上原 佳太先生**

**宮古島市立南小学校と宮古島
市立平良第一小学校にて特別
支援教育に関する校内研修支
援を実施**



ずみ！ネットメンバー

琉球大学教育学部	琉球大学教職大学院	宮古島市教育委員会	宮古島市立教育研究所
砂川力也	比嘉俊	与那覇周作	平良善信
仲間伸恵	浦崎武	砂川誠	砂川睦紀
岡本牧子	下地敏洋	座間味浩二	
		古堅秀樹	
		平良美和子	
		宮國和美 (幼小接続アドバイザー)	

連絡責任者
(砂川力也)

事務局長
(指導主事)

双方の代表者である、琉球大学教育学部の連絡責任者と宮古島市立教育研究所の指導主事が窓口として情報共有を図りながら年間計画の推進、実施の確認、事業変更、追加相談等を行っている。

年度計画事業

子ども理解, 学校体育, 音楽を通じた特別支援教育

保幼小連携
推進連絡会

保幼小連携
プロジェクト

長期研究員
中学校: 道徳
小学校: 国語

長期研究員
中学校: 社会
小学校: 国語

長期研究員
中学校: 社会
小学校: 国語

長期研究員
中学校: 数学
小学校: 算数

長期研究員
中学校: 理科
小学校: 算数

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

長期研究員
中学校: 理科
小学校: 道徳

長期研究員
中学校: 理科
小学校: 特活

長期研究員
中学校: 英語
小学校: 外国語

長期研究員
中学校: 数学
小学校: 算数
幼稚園: 幼児教育

長期研究員
中学校: 社会
小学校: 体育

学力調査
生徒会活動

学級経営
特別支援教育
小中連携

特別支援教育
プロジェクト

教職教養講座

教員や学生による宮古島市での教育活動

地域連携萌芽プロジェクト

島嶼地域における子どもの健康活動支援に貢献する人材育成に向けた取り組み

2020

2021

遠隔授業でのプログラミング教育

宮古島市立久松中学校と連携して、琉球大学の学生による遠隔授業でのプログラミング教育の実践

2022

幼少連携に関連した子どもの体力調査

宮古島市の幼少連携に関連した子どもの健康支援に対する現地調査と教育委員会および現職教諭へのヒアリング

連携協定によって相互に連携・協力が円滑に行え、双方にとって有益な機会を設ける事ができている。

宮古島市HPでの掲載 新聞等のメディア

教育活動の取組が広く知られていないような印象も受ける。学校によってはアドバイザースタッフ派遣事業の存在を把握していないケースもあった。学校単体での活用が難しい場合がほとんどであり、予算確保に向けて課題が残る。

戦略的な広報活動

The screenshot shows the Miyako City official website. At the top, there is a navigation bar with the city logo and name (宮古島市), a search bar, and various utility links like RSS and Site Map. Below the navigation bar, there are several menu items: Home, Local Information, Administrative Information, Information for Business, and Tourism/Event Information. The main content area features a breadcrumb trail: Home > City Organization > Education Committee > Education Research Institute > Education Research Institute > FY2024 Events. The primary heading is '令和4年度 行事の様子' (FY2024 Events). Three news items are listed:

- 令和4年度第1回初任者研修指導教員等連絡協議会 4月4日(月)**
今年度の初任者研修指導教員の先生方へ命課書の交付を行いました。
- 令和4年度後期(第22期)研究教員オリエンテーション 4月5日(火)**
10月から本研究所で入所研修を行う研究員のオリエンテーションを実施しました。
- 令和4年度 宮古島市における中学校校スポーツ指導者研修会 4月28日(木)**
琉球大学教育学部保健体育講座 准教授 砂川 力也先生を招聘して中学校部活動指導教諭および外部指導者、スポーツ協会関係者を対象にスポーツ指導者研修会を実施しました。
演題：「科学的根拠に基づくトレーニング指導法とスポーツ活動のあり方」

学校現場のニーズの把握

出来るだけ長く継続できる教育支援

宮古島市における教育活動の理解と広報